

## 資料

資料1：産地組合対象アンケート  
依頼状および調査票

平成19年11月9日

各 位

独立行政法人 中小企業基盤整備機構  
経営基盤支援部 繊維産業支援室  
室長 金井 一弘

繊維産地最新状況調査について（お願い）

拝啓 時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

中小企業基盤整備機構の活動につきましては、日頃格別なご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて今般、当機構では、(株)東レ経営研究所に委託して、全国各地の繊維産地（組合）の最新状況についてアンケート調査させていただくことになりました。

調査結果は、本調査と並行して実施する産地企業対象の調査結果などと併せ、報告書『全国繊維産地概況（平成19年度版）』として整理のうえ、当機構のホームページに掲載を行い、産地の皆さまをはじめ、ユーザー産業の方々など幅広い関係者のご参考に供する予定です。また、調査結果は今後の国等の繊維政策立案にあたっても重要な情報源となることが想定されます。

つきましては、ご多用の折まことに恐縮ですが、趣旨ご理解の上、同封調査票へのご回答をよろしくごお願い申し上げます。11月30日（金）までにご記入のうえご投函いただければ幸いです。

ご回答の一部は個別産地（組合）の情報として公開させていただき、一部は統計的に処理して取りまとめた形で発表させていただきます。公開部分につきましては文体の統一や長さの調節などをさせていただくことがありますので、予めご了解下さい。統計的に処理して発表する部分につきましては、個人や個別企業の情報が外部に漏れることはありませんので、どうか内容豊富なご回答をいただきますよう、ごお願い申し上げます。

なお、わが国繊維産地には、産地間連携や下請からの脱却（自立化）、輸出など、工夫と努力によって経営向上を図っておられる企業（グループ）もあります。今回はそうした企業（グループ）の状況についても調査・掲載する予定であることを申し添えます。

ご質問等ございましたら、次頁記載の担当者あてにごお願い申し上げます。

敬具

同封物 1. 繊維産地最新状況調査 調査票

2. 返送用封筒

以下は、過去2回の調査にご回答いただいた産地（組合）のみ同封

（3. 平成11年3月『全国繊維産地概況』貴産地（組合）分）

（4. 平成15年3月『全国繊維産地概況』貴産地（組合）分） 各1部

以上

株式会社 東レ経営研究所 繊維調査部 担当者：深津・村尾  
〒279-8555 千葉県浦安市美浜 1-8-1  
電話：047-350-6078 ファックス：047-350-6077  
Eメール：Takao\_Fukatsu@tbr.toray.co.jp

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 委託事業

## 繊維産地最新状況調査 調査票

このアンケート調査は、独立行政法人中小企業基盤整備機構の委託により（株）東レ経営研究所が実施させていただくものです。

調査結果は、本調査と並行して実施する産地企業対象の調査結果などとともに報告書『全国繊維産地概況（平成19年度版）』に収録させていただきます。

その際、ご回答の前半は個別産地（組合）の情報として公開させていただき、後半は統計的に処理して取りまとめた形で発表させていただきます。前者につきましては文体の統一や長さの調節などをさせていただくことがありますので、予めご了解下さい。後者につきましては、個人や個別企業の情報が外部に漏れることはありませんので、どうか内容豊富なご回答をいただきますよう、お願い申し上げます。

なお、前回（平成14年度）の『全国繊維産地概況』は、下記のインターネットURL（中小企業基盤整備機構のウェブサイト内）で閲覧できますので、ご参考になさってください。

<http://www.smrj.go.jp/keiei/seni/info/pub/006981.html>

この用紙にご記入のうえ、11月30日（金）までにご投函下さい。

株式会社 東レ経営研究所

繊維調査部 担当者：深津・村尾

〒279-8555 千葉県浦安市美浜 1-8-1

電話：047-350-6078 ファックス：047-350-6077

Eメール：Takao\_Fukatsu@tbr.toray.co.jp

## ご記入にあたって

1. この調査票は、産地組合・団体の首脳にお送りしています。貴台または事務局の適任者の方にご記入いただくよう、お願いします。回答し難い質問は空白でも結構ですから、可能な限りご記入いただき、ご返送下さいますようお願い申し上げます。
2. ご記入にあたっては、必要に応じ、産地企業の方々の意見もお聞き下されば幸いです。
3. 質問には、文章や統計数字をご記入いただくものと、回答例から選んでマークしていただくものがあります。

文章・数字でのご回答は、楷書で明確にお書き下さい。なお、統計がないなどの理由で記入できない質問につきましては、推定値で結構ですからできるだけご記入ください。その場合は「推定」であることを明記下さい。

選択方式の質問は、「1つだけ」「いくつでも」等の指示に従い、該当する項目の番号を 印で囲んで下さい。

選択方式の回答で「その他」にマークされた方は、できるだけ具体的内容をご記入下さるようお願いいたします。
4. 記入スペースが不足する場合は別紙にご記入いただき、この調査票に貼り付けてお送り下さい。
5. 以前の調査にご回答いただいた先には平成 10 年度と 14 年度の調査結果を同封しております。ご記入のご参考に願います。利用できる部分は切り抜いて、この調査票に貼り付けていただいても結構です。

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 委託事業  
**繊維産地最新状況調査 調査票**

質問1 ご回答者についてご記入下さい。

1) 組合(団体)名			
2) 同上住所			
3) 記入者お役職		4) 記入者ご氏名	
5) 電話番号		6) ファックス番号	
7) Eメールアドレス			

以下の質問2～11は、お差し支えない限りご回答内容を公開させていただく部分です。

質問2 貴産地(組合)の概要についてご記入ください。

1) 産地名 <sup>(注1)</sup>		
2) 所在地域 <sup>(注2)</sup>	都道府県： 市町村：	
3) 産地(組合)のホームページの有無	1. ある 2. ない	ある場合、そのアドレス(URL)
4) 産地(組合)のキャッチフレーズ、PRしたい事項などを簡潔にお書き下さい <sup>(注3)</sup> 。		

(注1) 通称でも結構です(同封の平成10年度、14年度の調査結果をご参照下さい)。

(注2) 自治体合併により、前回とは違っている産地が多いと思われるので、新市町村名によりご記入下さい。

(注3) 報告書の産地名の上に記載してPRさせていただきます。

質問3 以下の質問では貴産地の最近の状況や産地に関する統計数字について伺います。その回答内容が「産地全体について」のものか、それとも「貴組合・団体に限った」ものかをお示し下さい。(1つだけ 印)

1. 以下の回答は、産地全体についてである。

2. 以下の回答は、当組合・団体についてである。

質問4 前回調査(平成14年9月)時点以降の貴産地(組合)の主な沿革、および最新の状況、今後の見通しについてご記入ください<sup>(注)</sup>。本調査に初めて回答される産地(組合)は、はじめからの沿革を簡潔にお書き下さい。

1)(平成14年9月以降の)産地(組合)の主な沿革:

2)産地の最新の状況:

3)今後の見通し(例えば、5年後にどのような状況になっていると考えるか):

(注)「沿革」については、前回調査結果に付け足して紹介させていただく予定です。  
スペースが足りなければ別紙を貼り付けてください。

質問5 貴産地（組合）の平成18年度（末）における状況についてご記入ください。

平成18年度（末）		
1) 企業（組合員）数 （注）	_____社	
2) 従業員数 <sup>（注）</sup> と 平均年齢	従業員数_____人	平均年齢_____歳
3) 生産（出荷）実績 （注）	数量 (トン又は千㎡)	金額 (千円)
4) 設備規模	主要設備名	台数（単位）
		( )
		( )
		( )
		( )
		( )
5) 平成18年度 品目別生産（出荷） 実績	主要生産（出荷）品目	生産（出荷）数量（単位）

（注） については、前回調査の数字につなげて紹介させていただく予定です。推定値の場合はその旨お書き添え下さい。



質問6 貴産地（組合）の特色について、簡潔にご記入下さい。新しい動き・努力などもお書き下さい。

1) 製品面	
2) 技術面	
3) 設備面	
4) 販売面	
5) 人材面	
6) その他	

質問7 産地は「機能集積地」として理解されますが、現在、貴産地に集積している機能（業種）をお書き下さい<sup>(注)</sup>。

機能（業種）名	機能（業種）名
1)	2)
3)	4)
5)	6)
7)	8)

(注) 例えば燃糸、織布、編立て、染色整理、縫製、産元、買継ぎ、設備メンテナンス等々、貴産地に集積している機能（業種）をご記入下さい。

質問8 貴産地内にある繊維産業関連の業界団体、公的試験研究機関、教育機関等をご記入ください。前回調査と同じであれば、その旨お書き下さい。

A . 団体・機関名	B . 住 所	C . 電話番号
1 )		
2 )		
3 )		
4 )		
5 )		
6 )		
7 )		
8 )		

質問9 貴産地の製品について、原材料から小売までの生産・流通経路を図示して下さい。

内側の枠内に産地内各業種を、その上部に産地外の川上業種を、下部に産地外の川下業種を記入し、それらの関係を矢印で結んでお示し下さい。**売買関係は片矢印**で、**委託加工関係は両矢印**でお示し下さい。

他産地との連携や、川下進出、輸出など新しい動きも見られると思いますが、**旧来の経路は実線**で、**新しい動きは点線**でお示し下さい。前回調査の図を加筆修正して貼り付けていただいても結構です。

(川上)

(産地内)

(川下)

質問10 貴産地（組合）活性化に向けての取り組み事例がありましたらお示し下さい。（最近3年間について、いくつでも 印）。  
1～5にマークされた方は、その名称もお書き下さい。

1. 産地での展示・求評会開催	:(名称:	)
2. 国内大都市での単独展示・求評会開催	:(名称:	)
3. 他機関主催の展示・求評会への参加	:(名称:	)
4. 海外での単独展示会開催	:(名称:	)
5. 他機関主催の海外展示会への参加	:(名称:	)
6. 産地内企業のコラボレーション	7. 他産地企業とのコラボレーション	
8. 川下（卸・小売）分野への進出の試み	9. 製品輸出の試み	
10. 情報化の推進	11. 研修事業の実施	
12. 産学官のコラボレーション	14. 下請脱却（自立化）の努力	
15. その他（具体的に:		)

質問11 貴産地（組合）の課題と対策について伺います。現在、繊維産地を取り巻く環境には厳しいものがありますが、貴産地（組合）では現在、どのような事項が大きな課題となっていますか、またその課題を克服して産地（組合）を維持・向上させるためにどのような対策を考えておられますか、主要なものを3項目までお示し下さい。

A. 現在の課題	B. 左記の課題克服のための対策
1)	
2)	
3)	

以下の質問 12 ~ 17 は、ご回答を統計的に処理して利用させていただく予定です。

質問 12 貴産地の状況についてお示し下さい。(それぞれ 1 つだけ 印)

1) 産地企業の海外生産は増えていますか。	1. はい	2. いいえ	3. どちらとも言えない	4. 分からない
2) 上問で「はい」の場合、海外生産の増加で産地経済は打撃を受けていますか。	1. はい	2. いいえ	3. どちらとも言えない	4. 分からない
3) 産地の技術力は強くなる傾向にありますか。	1. はい	2. いいえ	3. どちらとも言えない	4. 分からない
4) 産地の企画・開発力など創造力は強くなる傾向にありますか。	1. はい	2. いいえ	3. どちらとも言えない	4. 分からない
5) 産地の設備規模は拡大の傾向にありますか。	1. はい	2. いいえ	3. どちらとも言えない	4. 分からない
6) 産地の設備は近代化が進行中ですか。	1. はい	2. いいえ	3. どちらとも言えない	4. 分からない
7) 一般従業員の不足感が強まっていますか。	1. はい	2. いいえ	3. どちらとも言えない	4. 分からない
8) 技術・技能工の不足感が強まっていますか。	1. はい	2. いいえ	3. どちらとも言えない	4. 分からない
9) デザイナー等の特殊技能者の不足感が強まっていますか。	1. はい	2. いいえ	3. どちらとも言えない	4. 分からない
10) 後継経営者の不足感が強まっていますか。	1. はい	2. いいえ	3. どちらとも言えない	4. 分からない
11) 産地の情報化(コンピュータの導入、インターネットの利用など)は進展しつつありますか。	1. はい	2. いいえ	3. どちらとも言えない	4. 分からない
12) 産地の内地市場・販路は拡大しつつありますか。	1. はい	2. いいえ	3. どちらとも言えない	4. 分からない

13) 産地内の企業間でコラボレーションするところが増えていますか。	1. はい	2. いいえ	3. どちらとも言えない	4. 分からない
14) 他産地や異業種の企業とコラボレーションするところが増えていますか。	1. はい	2. いいえ	3. どちらとも言えない	4. 分からない
15) 産学官のコラボレーションをするところが増えていますか。	1. はい	2. いいえ	3. どちらとも言えない	4. 分からない
16) 脱下請(自立化)を目指す企業が増えていますか。	1. はい	2. いいえ	3. どちらとも言えない	4. 分からない
17) 輸出を目指す企業が増えていますか。	1. はい	2. いいえ	3. どちらとも言えない	4. 分からない
18) 川下(卸、小売)進出を目指す企業が増えていますか。	1. はい	2. いいえ	3. どちらとも言えない	4. 分からない

質問13 貴産地の機能(業種)で、現在なくなってしまった機能(業種)や、減少が激しく正常な産地の生産活動に影響が出ているものがありましたらお書き下さい。また、それに対する産地(企業)としての対処状況もお書き下さい。

A. 機能(業種)名	B. 現 状	C. 産地(企業)の対処状況
1)	1. 消失 2. 不足	1. 国内他産地と連携 2. 海外と連携 3. その他(具体的に: )
2)	1. 消失 2. 不足	1. 国内他産地と連携 2. 海外と連携 3. その他(具体的に: )
3)	1. 消失 2. 不足	1. 国内他産地と連携 2. 海外と連携 3. その他(具体的に: )

質問14 貴産地(組合)の過去2年間の倒産・転廃業・新規開業件数についてお示し下さい。

倒産件数	件	転廃業件数	件	新規開業件数	件
------	---	-------	---	--------	---

質問15 貴産地(組合)における、現在の主要な問題点についてお示し下さい。(5つまで 印)

- |                              |                                |                                |
|------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 産地機能の不全化                  | 2. 生産の海外流出                     | 3. 輸入品との競合激化                   |
| 4. 技術力の相対的 <sup>(注)</sup> 低下 | 5. 企画開発力の相対的 <sup>(注)</sup> 低下 | 6. 設備内容の相対的 <sup>(注)</sup> 旧式化 |
| 7. 一般従業員の高齢化                 | 8. 一般従業員の不足                    | 9. 一般従業員の余剰                    |
| 10. 熟練技術技能者の高齢化              | 11. 熟練技術技能者の不足                 | 12. 熟練技術技能者の余剰                 |
| 13. 後継経営者の確保困難               | 14. 受注単価の低落                    | 15. 内需の不振                      |
| 16. 輸出の不振                    | 17. 資金難                        | 18. 真に必要な情報の入手難                |
| 19. 情報化の遅れ                   | 20. 必要なインフラの欠如                 | 21. 適切な公的支援の欠如                 |
| 22. その他 (                    |                                | )                              |

(注)「相対的」とは、他の産地あるいはアジア、欧米など外国と比較して相対的に、という意味です。

質問16 公的な支援についてのお考えをお示し下さい。

1) 従来の公的支援における問題点:

2) 今後望まれる公的な支援:

質問17 貴産地（組合）において、産地で不足している機能について他産地の機能を活用、新製品開発や新販路開拓のため他産地企業や異業種企業と連携、下請からの脱却（自立化）、輸出、産学官連携など、先進的な経営取り組みをしている企業がありましたら2社程度お示し下さい（当該企業とお打ち合わせの上、ヒアリングに伺う場合があります）。

先進的な経営取り組み事例 その1		
企業（グループ）名		
代 表 者 名		
住 所		
電 話 番 号	ホームページ	
取 り 組 み の 種 類	1．他産地機能活用 2．他産地・異業種企業連携 3．下請脱却（自立化） 4．輸出 5．産学官連携	
取 り 組 み の 概 要 と 成 果 の 状 況		

先進的な経営取り組み事例 その2		
企業（グループ）名		
代 表 者 名		
住 所		
電 話 番 号	ホームページ	
取 り 組 み の 種 類	1．他産地機能活用 2．他産地・異業種企業連携 3．下請脱却（自立化） 4．輸出 5．産学官連携	
取 り 組 み の 概 要 と 成 果 の 状 況		



質問18 貴組合（団体）の現状について伺います。

1) 専従役員数	_____人	2) 5年前の専従役員数	_____人
3) 非専従役員数	_____人	4) 5年前の非専従役員数	_____人
5) 組合（団体）統廃合等の動きの有無（どの組合と、どういう目的で、等）			

ご協力有り難うございました。

同封の封筒に入れ、11月30日（金）までにご投函下さい。

資料2：産地企業対象アンケート  
依頼状および調査票

平成19年11月15日

各位

独立行政法人 中小企業基盤整備機構  
経営基盤支援部 繊維産業支援室  
室長 金井 一弘

繊維産地企業の状況に関するアンケート調査についてのお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

中小企業基盤整備機構の活動につきましては、日頃格別なご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて今般、経済産業省が5月に取りまとめた「繊維ビジョン」の着実な実行のため、当機構では、経済産業省繊維課と協力の下、(株)東レ経営研究所に委託して、全国各地の繊維産地企業の経営者の方々を対象に、産地企業の経営の実態や直面している問題等についてアンケート調査させていただくことになりました。

調査結果は、本調査と並行して実施する各産地組合対象の調査結果と併せ、報告書『全国繊維産地概況(平成19年度版)』として整理のうえ、当機構のホームページに掲載を行い、産地の皆さまをはじめ、ユーザー産業の方々など幅広い関係者のご参考に供する予定です。また、調査結果は今後の経済産業省の繊維政策立案にあたっても重要な情報源となることから、是非とも、当調査にご協力頂きたいお願い申し上げます。

つきましては、ご多用の折まことに恐縮ですが、趣旨ご理解の上、同封調査票へのご回答をよろしくごお願い申し上げます。12月5日(水)までにご記入のうえご投函いただければ幸いです。

なお、アンケート結果はすべて統計的に処理して利用させていただき、個人や個別企業の情報が外部に漏れることはありませんので、どうか内容豊富なご回答を頂きますよう、重ねてお願い申し上げます。

ご質問等ございましたら、下記の担当者あてにお願い申し上げます。

敬具

同封物 1. 繊維産地企業アンケート調査 調査票  
2. 返送用封筒

各1部

以上

株式会社 東レ経営研究所 繊維調査部 担当者：深津、村尾  
〒279-8555 千葉県浦安市美浜1-8-1  
電話：047-350-6078 ファックス：047-350-6077  
Eメール：Takao\_Fukatsu@tbr.toray.co.jp

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 委託事業

# 繊維産地企業アンケート調査 調査票

このアンケート調査は、独立行政法人中小企業基盤整備機構の委託により（株）東レ経営研究所が実施させていただくものです。

調査結果は、本調査と並行して実施する各産地組合対象の調査結果などとともに報告書『全国繊維産地概況（平成19年度版）』に収録させていただきます。

収録にあたって、アンケート結果はすべて統計的に処理して利用させていただき、個人や個別企業の情報が外部に漏れることはありませんので、どうか内容豊富なご回答をいただきますよう、お願い申し上げます。

なお、前回（平成14年度）の『全国繊維産地概況』は、下記のインターネットURL（中小企業基盤整備機構のウェブサイト内）で閲覧できますので、ご参考になさってください。

<http://www.smrj.go.jp/keiei/seni/info/pub/006981.html>

この用紙にご記入のうえ、12月5日（水）までにご投函下さい。

株式会社 東レ経営研究所

繊維調査部 担当者：深津・村尾

〒279-8555 千葉県浦安市美浜1-8-1

電話：047-350-6078 ファックス：047-350-6077

Eメール：Takao\_Fukatsu@tbr.toray.co.jp

## ご記入にあたって

1. この調査票は、繊維産地企業各社のトップにお送りしています。貴台または適任者の方にご記入いただくよう、お願いします。  
回答し難い質問は空白で結構ですから、可能な限りご記入いただき、ご返送下さいますようお願い申し上げます。
2. 質問には、回答例から選んでいただくものと、文章や数字をご記入いただくものがあります。  
  
文章・数字でのご回答は、楷書で明確・簡潔にお書き下さい。なお、過去の数字など資料が手近にない場合、およその数字で結構です。  
  
選択方式の質問は、「1つだけ」「いくつでも」等の指示に従い、該当する項目の番号を 印で囲んで下さい。  
  
選択方式の回答で「その他」にマークされた方は、できるだけ具体的内容をご記入下さるようお願いいたします。
3. ご回答内容は統計的に処理した形で発表させていただきますので、個人情報や個別企業の情報が公開されることはありません。
4. 記入スペースが不足する場合は別紙にご記入いただき、この調査票に貼り付けてお送り下さい。
5. 先進的な取り組みをされている企業様につきましては後日、ご了解を頂いた上で取材をさせていただく場合があります。取材結果につきましては、お許しを得て公開させていただきたいと考えていますので、その節はよろしくようお願い申し上げます。

## 繊維産地企業アンケート調査 調 査 票

質問1 ご回答者についてご記入下さい。

1) 社名		2) 住所	
3) ご回答者氏名		4) ご回答者役職	
5) 電話番号	_____ - _____ - _____	6) ファックス番号	_____ - _____ - _____
7) Eメールアドレス			

質問2 貴社の概要について伺います。

1) 設立年 (1つに 印)	1. 大正以前      2. 昭和元～20年      3. 昭和21～30年      4. 昭和31～40年 5. 昭和41～50年      6. 昭和51～60年      7. 昭和61年～平成7年      8. 平成9年以降					
2) 資本金 (1つに 印)	1. 1000万円以下      2. 5000万円以下      3. 1億円以下      4. 3億円以下      5. 3億円超					
3) 加入している産地組合名						
4) 主要事業 (1つに 印)	1. 撚糸業      2. 織布業      3. ニット生地製造業      4. 染色整理業      5. 縫製業 6. その他(具体的に: _____ )					
5) 設備・技術・経営の特色	(競争力のある設備、他社にない技術、特色ある経営の取り組み等があれば、その概要をお書き下さい)					
6) 体制	現在	生産部門_____名	技術開発部門 _____名	10年前	生産部門_____名	技術開発部門 _____名
		営業部門_____名	企画デザイン部門_____名		営業部門_____名	企画デザイン部門_____名

質問3 貴社の企業戦略について伺います。

1)高付加価値化 <sup>(注)</sup> に向けた取り組みの有無(1つに印)	1.ある 2.今はないが、今後取り組みたい 3.ない。今後も取り組む予定はない
2)「ある」場合の開始時期	平成_____年頃から取り組みを開始した
3)「ある」場合の取り組みの内容(A~D各いくつでも印)	<p>A.商品の開発  1.既存商品分野での高付加価値化(高機能化、デザイン性向上など) 2.新商品分野への展開  3.その他(具体的に: )</p> <p>B.生産工程の合理化  1.共同生産 2.企業間連携 3.IT活用 4.新生産方式採用 5.小ロット化  6.その他(具体的に: )</p> <p>C.経営の合理化  1.外国人雇用 2.非正規社員雇用 3.その他(具体的に: )</p> <p>D.新販路の開拓  1.海外展開 2.自販 3.その他(具体的に: )</p> <p>E.その他(具体的に: )</p>
4)「ある」場合の取り組みの成果(「ない」場合は5年前との比較)(A B各1つに印)	<p>取り組み前の水準と比べた売上高、利益の状況</p> <p>A.売上高の増加: 1.変化なし 2.25%未満 3.50%未満 4.50%以上 5.減少した</p> <p>B.利益の増加: 1.変化なし 2.25%未満 3.50%未満 4.50%以上 5.減少した</p>

注:「高付加価値化」とは、新製品・新用途・新販路の開拓、その等により、企業収益を向上させる努力を指します。

質問4 貴社の得意先との取引の状況について伺います。

	現在
1) 主要な得意先の業種	
2) 5年前と比べた得意先の数 (1つに 印)	1. 大幅に増えている      2. 若干増えている      3. 変化なし 4. 若干減少している      5. 大幅に減少している
3) 得意先との基本契約書 <sup>(注)</sup> の 締結状況(1つに 印)	取引基本契約書を締結している得意先の割合は 1. 0%(ない)    2. 25%未満    3. 50%未満    4. 75%未満    5. 100%未満    6. 100%
4) 5年前と比べた基本契約締結 得意先の割合(1つに 印)	1. 大幅に増えている      2. やや増えている      3. 変化なし 4. やや減少している      5. 大幅に減少している
5) 基本契約の履行率 (1つに 印)	基本契約書がある得意先で、契約を守ってくれる取引先の割合は 1. 0%(ない)    2. 25%未満    3. 50%未満    4. 75%未満    5. 100%未満    6. 100%
6) 5年前と比べた基本契約の履 行率(1つに 印)	1. 非常に向上している      2. やや向上している      3. 変化なし 4. やや減少している      5. 大幅に減少している
7) 個別契約書(発注書)をの状 況(1つに 印)	個別契約書(発注書)を締結している得意先の割合は 1. 0%(ない)    2. 25%未満    3. 50%未満    4. 75%未満    5. 100%未満    6. 100%
8) 5年前と比べた個別契約書 (発注書)締結得意先の割合 (1つに 印)	1. 大幅に増えている      2. やや増えている      3. 変化なし 4. やや減少している      5. 大幅に減少している
9) 個別契約書(発注書)の履行 率(1つに 印)	個別契約書(発注書)がある得意先で、契約(発注)を守ってくれる取引先の割合は 1. 0%(ない)    2. 25%未満    3. 50%未満    4. 75%未満    5. 100%未満    6. 100%
10) 5年前と比べた個別契約書 (発注書)の履行率 (1つに 印)	1. 非常に向上している      2. やや向上している      3. 変化なし 4. やや減少している      5. 大幅に減少している
11) 契約履行上の問題点 (いくつでも 印)	契約(発注)が遵守されないケースがある場合、どの方面での問題が多いですか 1. 価格面(値引、不条理なりべト要求等) 2. 引取面(一方的な引取遅延、不条理な返品等) 3. 決済面(支払遅延、決済条件延長、手形サト等) 4. 品質面(不条理な品質外-ム等) 5. その他(具体的に: )

注: 取引基本契約書とは、得意先との取引に関し基本的な事項をあらかじめ取り決めておくもので、個別の取引はこの基本契約書をベースに個別契約書(発注書、注文書)などの書面によって行うこととなります。口約束ではなく、書面によって取引内容を取り決めることは取引の基本と言えます。

質問5 貴社の企業間連携の状況について伺います。ここでの「企業間連携」とは、複数の中小企業が互いに連携することによって新たな事業展開を産み出すことを指します。したがって、旧来の取引について旧来の得意先等と緊密に連携することなどは含みません。

1) 企業間連携の有無 (1つに 印)	1. ある 2. ない
2) 「ある」場合の目的 (いくつでも 印)	1. 商品企画・開発 2. 仕入 3. 生産 4. 情報交流・収集 5. 販売 6. その他(具体的に: )
3) 「ある」場合の連携開始時期	平成_____年頃から
4) 「ある」場合の連携相手の属性 (1つに 印)	1. 同業種企業 2. 異業種企業(業種名: )
5) 「ある」場合の連携相手の立地 (1つに 印)	1. 自社と同じ産地内 2. 自産地以外の地域(産地名: )
6) 「ある」場合の連携の成果 (1つに 印)	1. 大いにあった 2. 若干あった 3. なかった
7) 連携の具体的内容	(お差し支えなければ、連携の内容、メンバー、活動状況等につき具体的にお書き下さい)
8) 連携が「ない」場合の理由	



質問6 貴社の産学官連携の状況について伺います。

産学官連携とは、企業と大学や研究機関・試験所、自治体などが協働して新製品開発や新販路開拓等により出すことを指します。

1) 産学官連携の有無 (1つに 印)	1. ある 2. ない
2) 「ある」場合の目的 (いくつでも 印)	1. 商品企画・開発 2. 仕入 3. 生産 4. 情報交流・収集 5. 販売 6. その他(具体的に: )
3) 「ある」場合の連携開始時期	平成_____年頃から
4) 「ある」場合の連携相手 (1つに 印)	1. 大学・専門学校 2. 試験所・リソースセンター等 3. 地方自治体 4. 企業
5) 「ある」場合の連携相手の立地 (1つに 印)	1. 自社と同じ地域 2. 他地域(具体的に: )
6) 「ある」場合の連携の成果 (1つに 印)	1. 大いにあった 2. 若干あった 3. なかった
7) 連携の具体的内容	(お差し支えなければ、連携の内容、メンバー、活動状況等につき具体的にお書き下さい)
8) 連携が「ない」場合の理由	

質問7 産地機能の不全化が懸念されていますが、貴産地の状況について伺います。産地機能とは、撚糸、織布、染色加工、縫製、設備メンテナンス、その他、産地内で完結的に製品を生産するのに必要な機能（業種）を指します。

1) 産地機能（業種）の状況について（A B各1つに 印）	A. 現在、産地の需要を十分まかなえていない機能（業種）は 1. ある（具体的に： _____） 2. ない B. 3年後程度先を見通した場合、産地の需要を十分まかなえなくなると思われる機能（業種）は 1. ある（具体的に： _____） 2. ない
2) 不足機能（業種）への対処（A B各いくつでも 印）	A. 現在、貴産地で機能 業種 の不足がある場合、貴社はどのように対処していますか 1. 産地内の残存機能を活用している 2. 国内他産地と連携している 3. 海外と連携している 4. その他（具体的に： _____） B. 今後、貴産地で機能 業種 の不足がでた場合、貴社はどのように対処しますか 1. 産地内に機能を残すよう努力する 2. 国内他産地と連携する 3. 海外と連携する 4. その他（具体的に： _____）

質問8 貴社の経営の状況について伺います。古いことまでお聞きして恐縮ですが、5年前、10年前についても分かる範囲で結構ですからできるだけお答え下さい。（過去の数値は概算で結構です）

	A. 昨年度（平成18年度）	B. 5年前（平成13年度）	C. 10年前（平成8年度）
1) 年商額（A～C各1つに 印）	1. 1千万円未満 2. 5千万円未満 3. 1億円未満 4. 5億円未満 5. 5億円以上	1. 1千万円未満 2. 5千万円未満 3. 1億円未満 4. 5億円未満 5. 5億円以上	1. 1千万円未満 2. 5千万円未満 3. 1億円未満 4. 5億円未満 5. 5億円以上
2) ここ数年の年商額の傾向（1つに 印）	1. 増加傾向にある 2. 大きな変化はない 3. 減少傾向にある		
3) 利益額（A～C各1つに 印）	1. 赤字 2. 5百万円未満 3. 1千万円未満 4. 5千万円未満 5. 5千万円以上	1. 赤字 2. 5百万円未満 3. 1千万円未満 4. 5千万円未満 5. 5千万円以上	1. 赤字 2. 5百万円未満 3. 1千万円未満 4. 5千万円未満 5. 5千万円以上
4) ここ数年の利益額の傾向（1つに 印）	1. 増加傾向にある 2. 大きな変化はない 3. 減少傾向にある		
5) 総費用に占める販売費、デザイン・開発費、資材調達費等の比率	1. 販売費： およそ _____ % 2. デザイン、開発費： およそ _____ % 3. 資材調達費： およそ _____ %	1. 販売費： およそ _____ % 2. デザイン、開発費： およそ _____ % 3. 資材調達費： およそ _____ %	1. 販売費： およそ _____ % 2. デザイン、開発費： およそ _____ % 3. 資材調達費： およそ _____ %

	A . 昨年度 (平成 18 年度)	B . 5 年前 (平成 13 年度)	C . 10 年前 (平成 8 年度)
6) 得意先との取引形態	1 . 委託加工取引 _____ % 2 . 売 買 取 引 _____ %	1 . 委託加工取引 _____ % 2 . 売 買 取 引 _____ %	1 . 委託加工取引 _____ % 2 . 売 買 取 引 _____ %
7) 新販路の比率 (金額ベース) <sup>(注)</sup> (1つに 印)	1 . 10%未満 2 . 20%未満 3 . 30%未満 4 . 30%以上	1 . 10%未満 2 . 20%未満 3 . 30%未満 4 . 30%以上	1 . 10%未満 2 . 20%未満 3 . 30%未満 4 . 30%以上
8) 輸出の状況 (1つに 印)	1 . 直接輸出あり 2 . 間接輸出 (商社経由など) あり 3 . 輸出なし	1 . 直接輸出あり 2 . 間接輸出 (商社経由など) あり 3 . 輸出なし	1 . 直接輸出あり 2 . 間接輸出 (商社経由など) あり 3 . 輸出なし
9) 「あり」の場合、生産数量に占める輸出の比率 (1つに 印)	1 . 10%未満 2 . 20%未満 3 . 30%未満 4 . 30%以上	1 . 10%未満 2 . 20%未満 3 . 30%未満 4 . 30%以上	1 . 10%未満 2 . 20%未満 3 . 30%未満 4 . 30%以上

注：新販路とは、消費者や小売段階への直販、その他、貴社の伝統的な販路以外にここ数年で開拓された販路を指します。委託加工取引から売買取引への転換なども含まれます。

質問 9 最近 5 年くらいの間に貴社が行われた投資<sup>(注)</sup>について伺います。

注：ここでの「投資」とは、設備の増設や更新、技術開発やデザイン開発等に投下した資金を指します。

1) 過去 5 年間、投資はしましたか (1つに 印)	1 . はい      2 . いいえ
2) 「はい」の場合、年平均の分野別投資金額とその内容をお答え下さい (A ~ C 各 1つに 印、内容記入)	A . 生産設備投資： 1 . 100 万円未満 2 . 500 万円未満 3 . 1000 万円未満 4 . 1000 万円以上 その主な内容：( ) B . 技術開発投資： 1 . 100 万円未満 2 . 500 万円未満 3 . 1000 万円未満 4 . 1000 万円以上 その主な内容：( ) C . デザイン等投資： 1 . 100 万円未満 2 . 500 万円未満 3 . 1000 万円未満 4 . 1000 万円以上 その主な内容：( ) D . その他投資： 1 . 100 万円未満 2 . 500 万円未満 3 . 1000 万円未満 4 . 1000 万円以上 その主な内容：( )

質問10 最近5年くらいの間に利用した主な国や自治体の制度・施策について伺います。複数ある場合には用紙をコピーしてお書き下さい。

1) 利用した制度・施策 (Aは記入、Bは1つに印、 C～Eは記入)	A. 制度・政策名:
	B. 提供者: 1. 国 2. 都府県 3. 市町村
	C. 利用時期: 平成_____年度
	D. その効果: 1. 大いに効果があった 2. まあ効果があった 3. どちらとも言えない 4. あまり効果はなかった 5. 全く効果はなかった
	E. 問題点:
2) 今後期待する施策 (記入)	(今後どのような施策を期待されるか、簡潔にお書き下さい)

ご協力有り難うございました。同封の封筒に入れ、12月5日(水)までにご投函下さい。

平成 19 年 11 月 9 日

各 位  
構

独立行政法人 中小企業基盤整備機

経営基盤支援部 繊維産業支援室  
室長 金井 一弘

### 繊維産地の状況に関するアンケート調査についてお願い

拝啓 時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

中小企業基盤整備機構の活動につきましては、日頃格別なご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて今般、当機構では、(株)東レ経営研究所に委託して、全国各地の繊維産地の最新状況について調査することとなりました。

調査は、産地組合対象のアンケート調査、産地企業対象のアンケート調査、各地試験場・リソースセンター等対象のアンケート調査、および先進企業のヒアリング調査などにより構成し、調査結果は報告書『全国繊維産地概況(平成19年度版)』として整理のうえ、当機構のホームページに掲載を行い、産地の皆さまをはじめ、ユーザー産業の方々など幅広い関係者のご参考に供する予定です。また、調査結果は今後の国等の繊維政策立案にあたって重要な情報源となることが想定されます。

調査のうち、の「試験場・リソースセンター等対象のアンケート調査」は、次のような目的で実施させていただくものです。

- 1) ご担当の繊維産地に関する状況判断
- 2) 産地間連携による生産、下請からの脱却(自立化)、輸出努力、産学官連携による新製品開発など、先進的な動きを展開している産地企業の情報収集
- 3) 産地との取り組みの状況 その他

上記の2)につきましては、ご紹介いただいた企業と打合せ、20社程度を目途に企業訪問ヒアリングを実施させていただく予定です。

つきましては、ご多用の折まことに恐縮ですが、趣旨ご理解の上、同封調査票へのご回答をよろしくお願い申し上げます。11月30日(金)までにご記入、ご投函いただければ幸いです。

ご質問等ございましたら、別紙記載の担当者あてにお願い申し上げます。

敬具

同封物 1. アンケート調査票  
2. 返送用封筒

各1部  
以上

株式会社 東レ経営研究所 繊維調査部 担当者：深津・村尾  
〒279-8555 千葉県浦安市美浜 1-8-1  
電話：047-350-6078 ファックス：047-350-6077  
Eメール：Takao\_Fukatsu@tbr.toray.co.jp

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 委託事業

# 繊維産地および産地企業に関するアンケート調査 調査票

このアンケート調査は、独立行政法人中小企業基盤整備機構の委託により（株）東レ経営研究所が実施させていただくもので、繊維産地をご担当の公設試験場および繊維リソースセンター、その他繊維産地を支援いただいている機関にお送りしています。

調査結果は、本調査と並行して実施する他の調査の結果とともに報告書『全国繊維産地概況（平成 19 年度版）』に収録させていただきます。

収録にあたって、アンケート結果はすべて統計的に処理して利用させていただき、個人や個別企業の情報が外部に漏れることはありませんので、どうか内容豊富なご回答をいただきますよう、お願い申し上げます。

なお、前回（平成 14 年度）の『全国繊維産地概況』は下記のインターネット URL（中小企業基盤整備機構のウェブサイト内）で閲覧できますので、ご参考になさってください。

<http://www.smrj.go.jp/keiei/seni/info/pub/006981.html>

この用紙にご記入のうえ、11月30日（金）までにご投函下さい。

株式会社 東レ経営研究所

繊維調査部 担当者：深津・村尾

〒279-8555 千葉県浦安市美浜 1-8-1

電話：047-350-6078 ファックス：047-350-6077

Eメール：Takao\_Fukatsu@tbr.toray.co.jp

## ご記入にあたって

1. この調査票は、繊維産地をご担当の公設試験場および繊維リソースセンター等のトップにお送りしています。貴台または適任者の方にご記入いただくよう、お願いします。  
回答し難い質問は空白でも結構ですから、可能な限りご記入いただき、ご返送下さいますようお願い申し上げます。

2. 質問には、文章や数字をご記入いただくものと、回答例から選んでいただくものがあります。

文章・数字でのご回答は、楷書で明確・簡潔にお書き下さい。

選択方式の質問は、いずれも該当する項目を1つだけ選び、その番号を印で囲んで下さい。

3. ご回答内容は統計的に処理した形で発表させていただきますので、個人情報や個別企業の情報が公開されることはありません。

4. 記入スペースが不足する場合は別紙にご記入いただき、この調査票に貼り付けてお送り下さい。

なお、先進的な経営を展開しておられる企業の情報につきましては、適切と考えられる約20社について、先方のご了解を得た上で訪問ヒアリングを実施し、先進事例紹介として掲載させていただく予定です。予めご了承下さい。

## 繊維産地および産地企業に関するアンケート調査票

質問1 ご回答者についてご記入下さい。

1) 組織名			
2) 住所			
3) 役職		4) 氏名	
5) 電話番号		6) ファックス番号	
7) Eメールアドレス			

質問2 ご担当の産地(組合)名、およびその状況について、把握しておられる範囲で結構ですのでお書き下さい。

担当産地(組合)が3つ以上ある場合には、本用紙のコピーをとって貼付してください。

「7) 産地の問題点」については、産地の製品、技術、設備、販売や、産地企業の経営(経営者・従業員の後継問題、資金問題、その他)などの中でとくに問題が大きいとお考えの点を簡潔にお示し下さい。

1) 担当産地名1		2) 産地組合名	
3) 主要産品		4) 所在地域 (市町村)	
5) 産地の規模 (1つに印)	この数年 1. 急激に縮小している 2. 縮小している 3. 規模は維持されている 4. 拡大している		
6) 産地の機能 (1つに印)	1. 従来あった産地の機能で、既に消滅したものがある(具体的に: ) 2. 産地の機能で、数年後には消滅が危惧されるものがある(具体的に: ) 3. 産地の各機能は今後も維持されると思われる		
7) 産地の問題点			



1) 担当産地名 2		2) 産地組合名	
3) 主要産品		4) 所在地域 (市町村)	
5) 産地の規模 (1つに 印)	この数年 1. 急激に縮小している 2. 縮小している 3. 規模は維持されている 4. 拡大している		
6) 産地の機能 (1つに 印)	1. 従来あった産地の機能で、既に消滅したものがある(具体的に: ) 2. 産地の機能で、数年後には消滅が危惧されるものがある(具体的に: ) 3. 産地の各機能は今後も維持されると思われる		
7) 産地の問題点			

1) 担当産地名 3		2) 産地組合名	
3) 主要産品		4) 所在地域 (市町村)	
5) 産地の規模 (1つに 印)	この数年 1. 急激に縮小している 2. 縮小している 3. 規模は維持されている 4. 拡大している		
6) 産地の機能 (1つに 印)	1. 従来あった産地の機能で、既に消滅したものがある(具体的に: ) 2. 産地の機能で、数年後には消滅が危惧されるものがある(具体的に: ) 3. 産地の各機能は今後も維持されると思われる		
7) 産地の問題点			

質問3 貴組織の繊維産地との取り組みについて伺います。

質問3-1 繊維産地対策関連の体制について

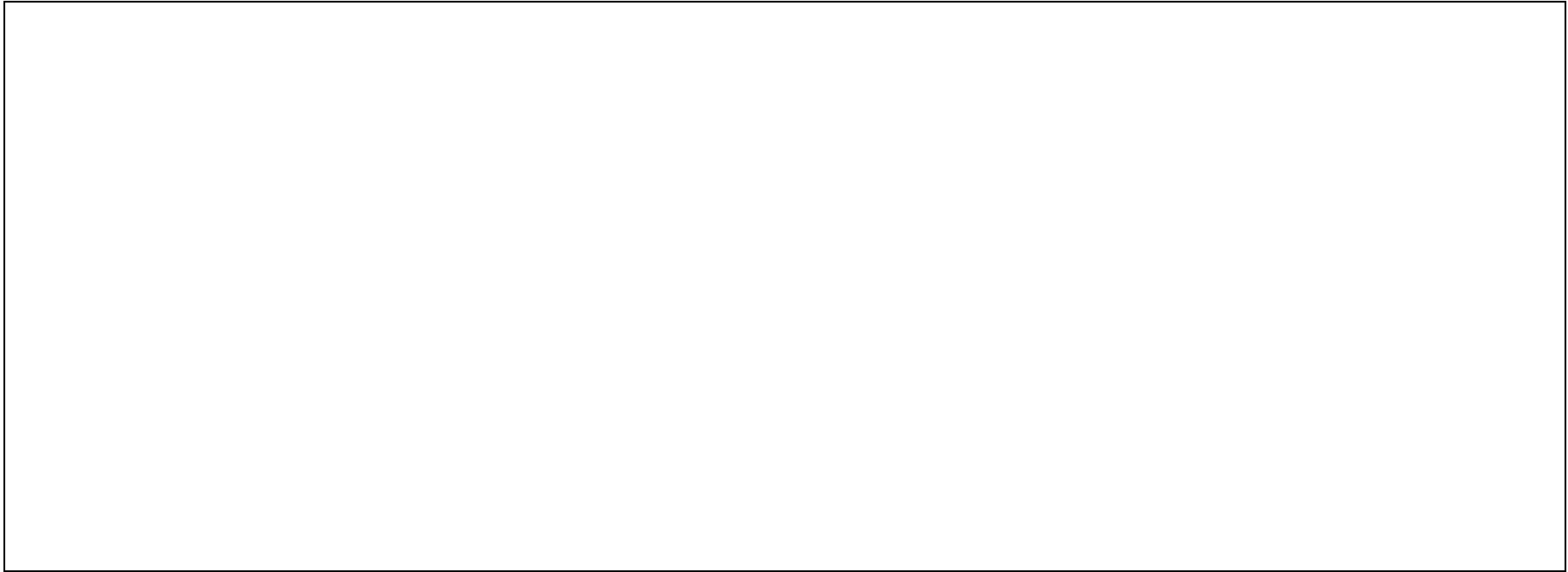
1) 担当職員数(管理職含む)	_____人
2) 年間関連予算	約_____千円
3) 年間産地関係者来訪数	延べ約_____人
4) 繊維関連年間プロジェクト数	約_____本
5) 産地との関わり方	1. 研究開発費支援    2. 商品開発支援    3. 人材育成支援    4. 情報提供 5. その他(具体的に: _____)

質問3-2 現在の産地との主な取り組み内容と成果

貴組織がリーダーシップをとられて、あるいは参加されて、産地の新製品開発、新販路開拓等に貢献されたケースについてお示し下さい。

1) 産地名	
2) 企業名	
3) 企業以外の参加組織名	
4) 取り組みの概要	
5) 取り組みの時期	平成____年____月 ~ 平成____年____月
6) 取り組みの成果	
7) 行政支援の活用状況 (活用している施策名、担当機関 など)	

質問3-3 貴組織としてお考えになっている今後の産地維持・向上対策の内容・目標等につき簡潔にお示し下さい。



質問4 ご担当産地内で、下記1)～3)の取り組みを行っている企業をそれぞれ2社程度ご紹介下さい。(当該企業とお打ち合わせの上、ヒアリングに伺う場合があります)

1) 新製品開発や新販路開拓などのため、積極的に他産地企業あるいは他業種企業と連携している企業

該当企業の有無	新製品開発や新販路開拓のため他産地企業や他業種企業と連携している産地企業は 1. 多数ある      2. 少数ある      3. ない
---------	--

企業例 1	社名		社長名	
	住所		電話	
	業種		加入産地 組合名	
	連携先産地		連携先 業種	
	連携内容と 成果			

企業例 2	社名		社長名	
	住所		電話	
	業種		加入産地 組合名	
	連携先産地		連携先 業種	
	連携内容と 成果			

2) 直接・間接（商社経由）に製品の輸出に取り組んで実現させている企業

該当企業の有無	直接・間接（商社経由）に製品の輸出に取り組んで実現させている産地企業は 1. 多数ある    2. 少数ある    3. ない
---------	--

企業例 1	社名		社長名	
	住所		電話	
	業種		加入産地 組合名	
	活動内容と 成果			

企業例 2	社名		社長名	
	住所		電話	
	業種		加入産地 組合名	
	活動内容と 成果			

3) 産学官の協働により新製品開発等の新しい動きを活発に展開している産地企業

該当企業の有無	産学官の協働により新製品開発等の新しい動きを活発に展開している産地企業は 1. 多数ある    2. 少数ある    3. ない
---------	---

企業例 1	社名		社長名	
	住所		電話	
	業種		加入産地 組合名	
	活動内容と 成果			

企業例 2	社名		社長名	
	住所		電話	
	業種		加入産地 組合名	
	活動内容と 成果など			

質問5 担当繊維産地の今後に関して、また繊維産地の維持・発展のための国や自治体の施策の在り方等に関して、日頃のお考えを簡潔にお示し下さい。

ご協力有り難うございました。

同封の封筒に入れ、11月30日(月)までにご投函下さい。